

ニューズリリース



誠実と信用第一主義 アイジーペアガラスの 株式会社 栗原

2008年1月21日

2007年度の電気使用量を全社で7.1%削減しました

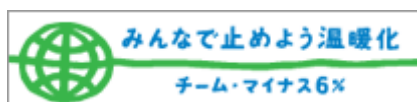
株式会社栗原は、2006年9月より、環境省が進める地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」(ホームページ：<http://www.team-6.jp>)に参加しています。この活動を実体のあるものにするために、2007年度の1年間、全社を挙げて電気使用量を削減する活動を進めてまいりました。その結果、2006年度に比較して、21747.5kWh(7.11%)の電気使用量を削減することができました。この電気量は、7.37~8.00トンの二酸化炭素排出量に相当し、この二酸化炭素量はおよそ700本のぶなの木が1年間に吸収する量に相当します。(算出根拠については、下記参照。)

栗原は、2006年度と2007年度の電気料金を比較して削減された差額を特定非営利活動法人「アジア植林友好協会」(東京都田無市 ホームページ：<http://www.agfn.org/index.htm>)に寄付します。寄付金は、同協会が実施しているインドネシアでの植林プロジェクト「生命(いのち)の森づくり」に活用していただく予定です。

また、同協会は、単発的に植林を行うだけでなく、現地の雇用を創出するなど、植林事業を継続的に進めていくことができる団体であり、栗原は、今後も法人会員として同協会を支援していきます。

<算出根拠>

1. 二酸化炭素排出量については、東京電力の発表する一般事業者に係る二酸化炭素排出原単位0.339kg-CO₂/kWh(2006年度)と0.368kg-CO₂/kWh(2005年度)を基に算出しています。本リリースの発表時には、2007年度の原単位は未発表です。
2. ぶなの木の本数については、板硝子協会と同様に、独立行政法人森林総合研究所の調査結果に基づき、1年間にぶなの木が吸収する二酸化炭素量11kgを基に算出しています。



<<本件に関するお問い合わせ先>>
(株)栗原 社長室：koho@kk-kurihara.com